

2020年4月1日付 韓国環境部プレスリリース

江原道楊口郡野生いのししでASF ウイルス初検出、防疫措置を強化

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1362670&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

環境部(長官ジョミョンレ)は江原道(カンウオンド)楊口郡(ヤンググン)楊口邑(ヤングウプ)広域フェンス内で発見されたイノシシ死体1個体からASFウイルスが検出されたと4月1日明らかにした。

* 華川(ファチョン)184件、漣川(ヨンチョン)178件、坡州(パジュ)85件、鉄原(チョルウォン)23件、楊口(ヤング)1件、合計471件

今回確診なった死体は、3月28日、楊口郡(ヤンググン)有害野生動物被害防止団がイノシシ捕獲作業のために入山した際に発見されたもので、楊口郡(ヤンググン)は野生イノシシASF標準行動指針により試料を採取して、現場消毒と共に死体を処理した。

この地点は、最近野生イノシシのASF陽性事例のあった華川郡(ファチョングン)看東面(カンドンミョン)の地点から直線距離で7.7km離れた地点で、華川郡(ファチョングン)看東面(カンドンミョン)2次フェンスと昭陽湖(ソヤンホ)3段階広域フェンスの間に位置する。

ホンジョング環境部次官(中央事故収拾本部副本部長)は、楊口郡(ヤンググン)で感染イノシシが初めて発見されたことを受け、地方自治体など関係機関と直ちにテレビ会議を開催し、拡散遮断のための対策を議論した。

環境部は発生地域周辺の死体を一斉に捜索し、近隣広域フェンスを補強するとともに、捕獲檻・罠を集中的に配置するなど強化された防疫措置を講じる。

先に、発見地点から半径10km範囲(楊口(ヤング)、華川(ファチョン)、春川(チュンチョン))に捜索人員59人を投じて、追加感染个体があるのか確認して、死体を迅速に除去して追加拡散を遮断する。

華川郡(ファチョングン)2次フェンスと3段階広域フェンス(春川(チュンチョン)ダム～楊口(ヤング)船着き場区間)および楊口(ヤング)西側フェンスの出入口の開閉状態および瑕疵の有無を直ちに点検し、脆弱区間を発見した場合は、直ちに補強する。

ASF 拡散を防止するため、発生地点周辺の 2 次フェンス設置と昭陽湖（ソヤンホ）南部の広域フェンス設置を迅速に検討し、推進する。

また、発生地点周辺の楊口（ヤング）、華川（ファチョン）、春川（チュンチョン）一帯は感染範囲の確認とイノシシ移動遮断状態の確認がとれるまで銃器捕獲を中断し、捕獲柵・罠を集中配置し、イノシシ捕獲を継続する。

車両・人によってウイルスが伝播しないように発生地点周辺は入山を禁止し、近隣地域の村への進入道路など広域フェンス周辺道路と移動車両に対する消毒を強化する。

環境部は、野生イノシシ死体発見時は接近せず、地方自治体などに迅速に申告し、発生地域近隣山地とフェンス内への立ち入りを自制するよう呼び掛けた。

以上